



このWakasagimatic DDM-T C14+はデジタルカウンターが搭載されており、いろんな便利機能が搭載されています。

1 5cm刻みの水深表示。

マーカの無い糸をご使用されても、釣り場的水深が一目でわかります。

2 船縁自動スローストップ。

仕掛けを掴みやすい位置に停止させ、0セットをしてくださ... 次回からもその位置「0.00」で止まってくれますので手返し抜群です。

3 巻き上げスピード調整。

巻き上げのスピードを5段階で調整できます。

4 左右巻き上げボタン機能切り替え。

左右のボタンA、Bはそれぞれ「チョイ巻き」「連続巻き上げ」と機能が分かれています、お客様の好みにより機能を入れ替えることができます。

5 電池残量表示。

電池残量を3段階で表示します。釣り前に残量をご確認頂き、楽しく釣りをするために必ず予備の電池をご持参ください。

6 指定糸巻学習機能。

電子制御されていますので、ナイロン、フロロ、PEの主要な糸の種類、太さ(号数)を選択し、任意の糸の長さを巻き取ることで、リールがご使用になる糸を学習します。

7 自動棚停止機構。

デジタルカウンターに棚を入力するだけで次回から仕掛けが自動でその棚で止まります。

8 船ベリアラーム(アラームON/OFF切替可能)。

巻き上げ中、水深4mより2m間隔で「ピッ」、水深0mで「ピッ」と鳴り、仕掛けが船べりに近づいて来るのをお知らせします。

1 電池の入れ方。

- 1. 電池カバーを(図1)の様に外してください。(無理に力を加えると破損する恐れがあります)
2. ナーの向きを間違えないように入れてください。(図2)
3. 電池カバーを(図3)の要領で閉めてください。(寒い時期にご使用する場合は、電池を暖めてからご使用いただくとう電池本来のスペックが出ます。)

2 電源のON/OFF。

- ON/OFFボタンを3秒以上押しすると電源がONします。
●消す場合も同じボタンを3秒以上押しせばOFFになります。

3 ご使用になる糸をリールに学習させます。

このリールは電子制御されているリールです。糸を巻かれる場合は巻かれる糸の種類、巻かれる糸の号数を選択していただいた後、お客様任意の糸の長さを巻いていただく必要があります。

Table with 2 columns: PE, ナイロン, フロロ and corresponding line numbers (e.g., 0.09号, 0.125号, 0.15号, 0.175号, etc.)

それではさっそく糸巻き学習を始めましょう。

C/Dボタン同時長押し(3秒以上)で学習モードへ
※糸巻き学習モードをキャンセルされる場合、C/Dボタンを同時長押ししてください。



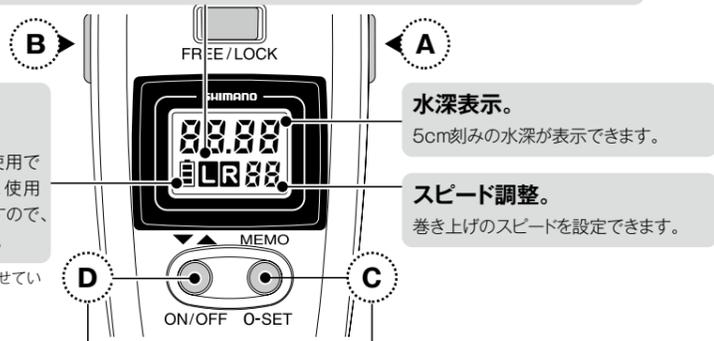
各部の名称と働き

LR切り替え。

- A、B部分に巻き上げボタンを装備しています。R表示の場合は下記の設定で作動します。(初期設定)
A ... チョイ巻き。(押ししている間だけ巻き上げ)
B ... 連続巻き上げ。(一回押しすと、船縁まで連続で仕掛けを巻き上げます。)
C/Dボタンを同時にチョイ押しすることでA、Bの機能を左右切り替え可能です。
L表示の場合は上記の逆で作動します。

電池残量マーク。

電池残量をしっかり表示。アルカリ乾電池単四2本、連続使用で5~7時間程度ご使用できます。



Control flowchart table: 電源ON(OFF), 0セット, 学習モード, 学習モード指定値選択, 学習モード指定値決定, 巻き上げ速度変更, 左右ボタン切替え

※チョイ押しは1秒未満、長押しは3秒以上押ししてください。

スプール。

ベアリング2個搭載。軽負荷落下抜群!

スプール固定ナットはしっかりと締め込んでご使用ください。ゆるめるとモーターが回転しなくなります。

タッチスプールのカット。

リールを握りこんだまま握りなおすこと無く、人差し指でスプールが触れます。

尻手ロープの取り付け位置。

尻手ロープが取り出しにくい場合は先の尖った物で引っ張り出してください。

電池ボックス。

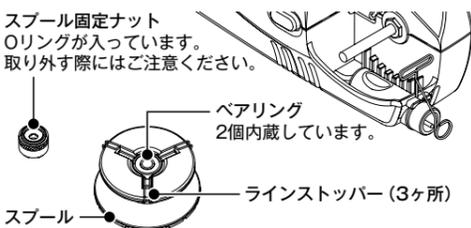
この部分に単四が2本入ります。

スプール部分の分解

スプール固定ナットをゆるめて取り外しますとスプールの取り外しが可能です。

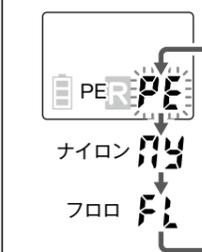
ネジの向きを間違えないようご注意ください。

※ご注意 スプール固定ナットをゆるめすぎるとA、Bボタンを押しても構造上モーターが回らなくなります。



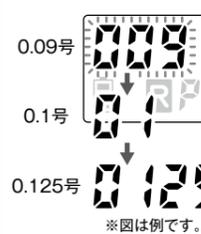
① ライン種類の選択

ライン種類が点滅します。Dボタンを押すごとにPE、ナイロン、フロロが順に切り替わります。



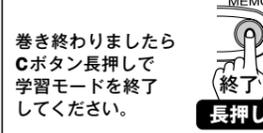
② ライン号数の選択

ライン種類決定後、ライン号数が点滅します。Dボタンを押すごとにライン号数が順に切り替わります。



③ ライン巻き取り量の入力

続いて「0.00」(巻き取り量)が点滅します。スプールに任意の長さの糸を巻いてください。



※ご注意 糸を巻かれる場合はスプールに偏って巻かず、均等になるように巻いてください。

学習モード終了

水深「0.00」が表示されます。

※糸を巻き込みすぎたり、糸を出しすぎた状態で0セットを行ないますと糸巻き学習が狂ってしまいます。

4 専用クッションシートを貼りましょう。

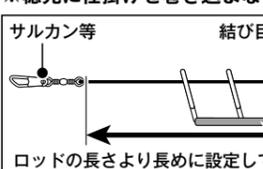
付属の専用クッションシートを左図の様に底面に貼ってご使用ください。

5 竿をリールにセットしましょう。

リールの穴径は5mmです。無理をせず竿の取り付け穴に竿を奥まで取り付けてください。

6 仕掛けをセットしましょう。

ガイドに道糸を通し、仕掛けを結んでください。※穂先に仕掛けを巻き込まない為に...



7 0セットを行いましょ。

慣れない間は穂先付近で0セットせず50cm程度余裕を持って行うようにしてください。

7 0セットを行いましょ。

「0セット」とは仕掛けを掴みやすい位置に持ってきた状態で、0-SETボタンを長押しすればOKです。

※糸の種類、スプールへの糸巻き形状、諸条件により、カウンター表示水深と実際の糸の長さが変わってしまうことがあります。

●又、道糸が途中で切れてしまった「高切れ」の場合も、仕掛けを結び直し、仕掛けを掴みやすい位置に持ってきた状態で0セットボタンを長押しすると、マイコンが自動で道糸の長さを再検出し正確に表示してくれます。

8 糸の出し方、止め方。

- クラッチを「FREE」に倒すと、スプールのフリー状態になり糸が出て、仕掛けを落下させることができます。
●クラッチを「LOCK」にすると、糸は出ません。

9 棚を決めましょ。

「自動棚停止を使う」:本製品には自動棚停止が搭載されています。自動棚停止はデジタルカウンター表示2m以上で有効です。

●棚停止記憶...停止させたい棚でMEMOボタンをチョイ押しします。水深表示部分が2度点滅すれば記憶完了です。

●棚停止リセット...2つの方法があります。①MEMOボタンを連続で素早く2回チョイ押ししてください。

「ラインストッパーを使う場合」:クラッチを「LOCK」にし、スプールもしくはモーターで巻き上げ、棚を決めます。

10 モーターでの巻き上げです。

リールの左右にA、Bボタンが付いています。どちらを押しても巻き上げ動作になりますが、押ししている間だけ巻き上げる「チョイ巻き」と一度押しと船縁停止位置まで自動に巻き上げてくる「連続巻き上げ」が分かれています。

●初期設定ではAボタンが「チョイ巻き」、Bボタンが「連続巻き上げ」に設定されています。

●ボタンA、Bの機能を入れ替えることも可能で、C/Dボタンを同時に押すと液晶画面のRとLが交互に入れ替わります。

●連続巻き上げ中に「チョイ巻き」を押すと「チョイ巻き」に切り替わります。

又、クラッチがフリー状態で、A、Bボタンどちらかを押し、巻き上げ動作になるとクラッチは自動で「FREE」から「LOCK」に切り替わり、巻き上げる事が可能となります。

11 巻き上げの速さを設定しましょ。

巻き上げの際、お気に入りの早さに設定する事が可能です。各設定は下表を参照してください。

Table with 5 columns: 1 (1.5m/s), 2 (1.8m/s), 3 (2.0m/s), 4 (2.2m/s), 5 (2.4m/s)

初期設定は5となっています。設定を変えるのは、Dボタンをチョイ押しすると巻上スピードが変わります。

その日の状況に合わせて設定してください。

※ご注意 スピードはあくまで目安です。電池の状況、負荷によっても変化しますのでご自分で設定を調整してください。

12 船縁自動スローストップ。

巻き上げている時、船縁停止位置「0.00」の手前50cmから巻き上げがスローになります。

13 さあ釣り開始です。

快適な釣りが行えるよう、実釣前には必ずリールが正常に稼動するか確認して実釣に備えてください。

- 道糸は古くなっていないか?
●電池はOKか?予備の電池は持ったか?
●モーターチューブは痛んでいないか、それなりのトルクで巻き上げられるか?
●スプールのフリーは完璧か?

楽しい釣りをを行うためにも上記程度のご確認をお願いいたします。

■その他の仕様

●船ベリアラームON/OFFのしかた

- ① R on 船ベリアラームが鳴ります。
② R off 船ベリアラームがOFFになります。

●電源オートOFF機能

電源ONの状態でも1時間放置されますと自動的に電源OFFになります。

●電池残量が少なくなると(電圧低下しますと)自動的に電源がOFFになります。

●モーターリミッター 船縁停止位置の手前50cm以内で急激に負荷が大きくなるとモーターリミッターが作動し停止します。

●モーターリミッター 船縁停止位置の手前50cm以内で急激に負荷が大きくなるとモーターリミッターが作動し停止します。